

あんしん 取材班が行く

立山黒部アルペンルート 高さ16メートルの雪の壁「雪の大谷」を訪ねて

富山県の立山一帯は標高3,000m級の山が連なり、豊かな自然とタイミツクな景観が楽しめる。国内有数の山岳リゾート。バスやケーブルカーなど、乗継ぐ立山黒部アルペンルートが整備され、標高2,450mの室堂まで誰でも気軽に訪れることができる。2022立山黒部アルペンルート「雪の大谷」(4月15日、6月25日)を訪ねた。「雪の大谷」とは? 立山室堂平は、

世界でも豪雪地帯。中でも室堂付近にある「大谷」は吹きたまりに積雪がたまり、その深さは20mを超える。大谷を通過する道路を「雪の壁」と呼ぶ。立山黒部アルペンルートは、以前は雪原上でコンパなどを使っていたが、現在はGPSを使い、より正確な道路の位置を把握でき、大型除雪車が2台並び雪面を力

うに掘り下げながら除雪して行く。雪の大谷は1週間から10日かかる。除雪車「熊太郎」がフェスティバル期間中展示されている。立山黒部アルペンルートが貫通して、立山黒部アルペンルートが全線開通して、から51年目に当たる。小説「黒部の太陽」が映画化され、躍如的に有名になった。黒部ダム(1963年竣工)は当時世界最大の事業といわれた。立山トンネル工事も黒部ダム建設に匹敵する大事業であった。

5月9日(月)午前7時は、あんしん取材班は、乗場、2階から立山は「日本最高所のリゾルト」に接している。隣接する「ホテル立山」が「雪の大谷」へ下り、35分かけて立山駅まで無料駐車場で到着。平日は、35分かけて立山駅まで無料駐車場で到着。平日は、35分かけて立山駅まで無料駐車場で到着。

乗場、2階から立山は「日本最高所のリゾルト」に接している。隣接する「ホテル立山」が「雪の大谷」へ下り、35分かけて立山駅まで無料駐車場で到着。平日は、35分かけて立山駅まで無料駐車場で到着。平日は、35分かけて立山駅まで無料駐車場で到着。



雪の大谷 16mの雪壁の絶景



斜度24°のケスルカー



室堂ターミナル内



室堂ターミナル内



大型除雪車「熊太郎」



雪の大谷には雪が降っていた

※立山駅周辺の無料駐車場には900台分のスペース完備

